

## 第7回マイタウンバス南部線河辺地域運行協議会事要旨

開催日時 平成26年1月19日(日) 午後1時30～2時30分

開催場所 河辺市民サービスセンター 和室1, 2

委員定数 15人

出席委員 14人

次 第 1 開 会  
2 議事  
3 その他  
4 閉 会

議 事 議事1 利用状況について(報告)  
議事2 運賃の改定について  
議事3 個別要望について

事務局 1 開会

2 議事

会 長 あいさつ  
議事に入る。  
議事1 利用状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料に沿って説明)

会 長 事務局からの説明について、何か質問、意見等あるか。

委 員 資料1において、河辺Bコースの乗車人員が減っているが、何故か。

委 員 岩見三内クリニックの閉鎖に伴い、乗車人員が減っている。

委 員 マイタウンバスが徐々に住民に周知され、利用するようになってきている。まだ利用する住民はいると思うので、声をかけていきたいと

思っている。バスは、必ず来てくれるので、安心感があり、助かっている。

委員 運送収入、営業費用の差額が市の負担金か。

事務局 そのとおりである。

委員 県や国からの補助金はあるのか。

事務局 県からマイタウン・バス全体で、1,000万円程度の補助金がある。

委員 欠損額の約8,000万円は、県の補助金を含めた市の負担額か。

事務局 そのとおりである。

委員 河辺Bコースにおけるルートや運行方法は、どうなっているのか。

委員 予約式運行である。ルートについては、利用者の状況により最短で迎えるよう対応しており、無線でやり取りする場合もある。

また、行きの便のみ、自宅から電話で予約をしてもらい、帰りの便は、降りる時に運転手に言ってもらえば、満席でない限り対応している。

委員 河辺Bコースの定時定路運行は出来ないのか。

委員 路線が岩見ダム方面と殿淵方面に分かれているため、現状の便数等を満足させた形での定時定路運行は難しい。

委員 河辺Bコースの一部の便でいいので、定時定路運行できないか。

委員 現在の利用者数や予約が複雑になること等を考慮すると難しいものである。まずは、時刻表の全戸配付等、住民に周知することで、マイタウンバスをもっと利用していただきたい。

事務局 他への影響等を含め検討する。

会長 時刻表については、なくしたりするので、時々出してもらいたい。

委員 電話予約をしたが、予約の便に遅れ次の便に乗ろうとしたところ、連絡がなかったため、乗務員から注意された利用者がいる。こういったことから使いづらいので、定時定路運行にして欲しい。

委員 状況を確認し、対応する。本来は、予約した便以外は乗れないが、乗務員によっては臨機応変に対応している場合がある。乗務員の対応を統一し、利用者の利便性に配慮した運行となるよう指導する。

会 長	引き続き、議事2 運賃の改定について、事務局から説明をお願いする。
事 務 局	(資料に沿って説明)
会 長	事務局からの説明について、何か質問、意見等あるか。
委 員	共働きが多く、高校生の通学に高齢者が送迎していることから、高校生もコインバスと同様な制度にして欲しい。
事 務 局	ほかの地区の高校生は、現状の運賃を支払っている。当地区のみ100円とすることは出来ない。
会 長	引き続き、議事3 個別要望について、事務局から説明をお願いする。
事 務 局	畑地区の住民から、和田駅を結ぶルートを実行して欲しいとの要望があったが、何か質問、意見等あるか。
委 員	畑地区の利便性を考えると、実行していただきたいが、このルートを実行することにより、現状の便数等に影響が及ばないように検討していただきたい。
事 務 局	検討する。
会 長	これで、議事は終了する。
事 務 局	次第3のその他について、他に何か意見等あるか。
委 員	バスのステップが高いので、低床型に出来ないか。
委 員	費用がかかり増しするため、困難である。また、中古車両の低床型は出回っていない。 既存車両のステップを改造するにしても費用の問題がある。
委 員	既存の手すりを使えば、乗降は可能だが、降車する際に必要なボタンの位置を下げることは出来ないか。
委 員	ボタンの位置を下げることは可能であるため、対応する。
委 員	河辺Aコース(上り)8:28イオンモール秋田着の便から中央交通に乗り継ぎする時間が短いため、この便をもっと早くして欲しい。
事 務 局	路線バスの時刻に乗り継げるよう検討する。 ほかに意見がなければ、これで協議会を終了する。